

4月10日：下落して1週間が始まる

昨日のVN指数は売り圧力がくすぶる中で弱含み、もみあいの展開となった。

ホーチミン市場では、VN指数は4.36ポイント安の1,065.35ポイント(-0.41%)で引け、3日続落となった。

142銘柄が上昇したのに対し、188銘柄が下落した。

しかし、流動性は前営業日から約40%増加した。ホーチミン市場の売買代金は15.1兆ベトナムドン（約6億42百万米ドル）で、出来高は8億58百万株だった。

ホーチミン市場の大型株30銘柄で構成するVN30指数は、1.47%安の1,077.41ポイント(-0.14%)で引けた。30銘柄のうち20銘柄が下落し、5銘柄が上昇、5銘柄は変わらずだった。

金融情報サイトのVietstock.vnのデータによると、銀行、不動産セクターが市場全般を牽引し、トレンドを形成していることを示している。特にBIDV銀行(BID)の下落の影響が大きかった。同銘柄は昨日2.1%下落した。

またベトコムバンク(VCB)やビンググループ(VIC)もともに1.1%下落し、全体への影響が大きかった。

さらにホアファット(HPG)、PVガス(GAS)、ビンホームズ(VHM)なども1.68~2.36%下落し、相場に重くのしかかった。

いくつかの大型株の上昇により、下落はいくらか緩和された。モバイルワールド(MWG)は+5.13%と大幅高となった。テックコムバンク(TCB)とキンバックシティ(KBC)もそれぞれ2.2%、5.39%上昇し、下落トレンドを吸収した。

一方、ハノイ取引所(HNX)では、HNX指数が0.4ポイント上昇し212ポイント(+0.19%)で引けた。

1億62百万株が売買され、売買代金は2.2兆ベトナムドンとなった。

外国人投資家は両取引所で 2,900 億ドンを売り越した。ホーチミン市場では 3,052 億ドンを売り越したものの、ハノイ市場では 153 億ドンを買い越し、差引 2,900 億ドンの売り越しとなった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。